

タイトル：「森の人をつなぐ」

趣旨：

流域圏懇談会山部会として 10 年来取り組んできた山村ミーティングの一つの成果として、2023 年 7 月に流域の 3 県 4 森林組合が集まって「第 1 回矢作川流域現場森林技能者合同交流研修会」を開催できた。このように県境を越えた流域単位の森林組合の現場技能者たちが長期的な人材育成（＝持続可能な流域の森づくり）のために一堂に会すること、さらに豊田森林組合が惜しげもなくそのノウハウを詳細に余さず公開伝達しようとされたこと自体画期的だった。まさに「流域は一つ、運命共同体」のスローガンそのものだ。

本報告書ではそのすべてを詳細に余さず記録した。

第 1 章では

矢作川流域での森づくりと人づくりに関わる流域圏懇談会の動きや行政・および市民活動などの取り組みを異なった振り返り、異なった切り口から俯瞰して今回の交流研修会の意義を考えたい。

第 2 章では

当日の様子を筆耕し、資料も添えてわかりやすく再現した。

対象：森林組合職員、林業事業体、行政、森林ボランティア、

仕様：2024 年 2 月中旬発刊…12 月末原稿一次締切、最終締切 1 月 31 日。2 月中旬入稿。

A4 判、カラー100 ページ、300 部発行

横書き 20 字 40 行、2 段組み（1 ページMAX 1600 字、図表写真含む）

構成：目次（仮）

第 1 章：矢作川流域圏懇談会山部会と市民による森づくりの取り組み

流域森林管理としての矢作川流域圏の森づくり	・・・ 5
矢作川流域の市民による森づくり	
～森の健康診断と流域担い手事例集	・・・ 8
（コラム）矢作川流域圏懇談会とは	・・・ 15
森林には市民が必要だ	
～市民・素人山主・森林技能者の体験的關係論～	・・・ 24
矢作川水源森の担い手を求めて	・・・ 33

第 2 章：矢作川水源の森づくり合同交流研修会 記録

（特別寄稿）基本と誇り～プロフェッショナルの明日へ	・・・ 33
開会	・・・ 41
豊田森林組合の人材育成事業の概要	・・・ 46
トレーナーからの報告	・・・ 52
伐倒実習の記録	・・・ 59
振り返り	・・・ 70

資料編

マニュアル/カリキュラム/安全装備/赤堀レポート/矢作新報/ほか	・・・ 77
----------------------------------	--------



豊田森林組合育成班 2 期生の 3 人。ヘルメットのバイザーもイヤーマフも無線も装着。山側に立ち、足場を固定。腰を落とした姿勢を取ってから、チェーンソーを持つ腕の肘を太ももに預け、伐る直前にチェーンソーブレーキを解除する。⚡



切削した後、バイザーをあげ、自ら指金を使い伐倒目標とのズレを確認。時間をかけて何度でも修正する。⚡



2 期生 3 名はこの日、伐倒目標との誤差が最小となる同じ測定値をたたき出し、参加者からはどよめき起きた。⚡

